

木オだよソ

社会福祉法人 東香会

しぜんの国保育園 small village

Dec. 2023



法人理念

いきいき

- 子どもの成長・発達・生活に寄与する人はすべて保育者
- 永続的な暮らしを目指し、物質と事象と生命との関係性を深める
- 地域で安心して子育てができるように

12月主題 よいしょ よいしょ わたしたちはここにいる

今日から「こども坐禅会」です。全クラスが朝「坐禅」をします。12/8の最終日は、お釈迦さまがさとりを開かれた日です。この日を「成道会(じょうどうえ)」と呼び、築田寺にて坐禅を組みます。

心を静かにただ坐る。背筋を伸ばすと、自分の心に触れるような気がします。静かに静かにそっと。慌ただしい日々の中に、ひとしずく、そんな時の流れがあるのもいいなと思います。

今日は、各クラスを周って坐禅の「型」を伝えました。初日なので短めに慣らしていきます。最後に放送で「もしも坐禅をもっとしたいなと思ったら教えてね」と伝えると、けやき組のIくんが自分で「やってみたい」と決めて、事務所に来てくれました。

向かい合って目を閉じて静かに座ります。Iくんと私。心地よい空気が流れます。彼の心が静かに流れているのを私も感じ、私の心も静かになっていきます。「もう疲れたかな？」と思い、薄目で彼の姿を見ると、いつくんは目をつむり、まだ静かに座っていました。

「大丈夫？疲れない？」と尋ねると「まだ大丈夫」と言ったので、続けてしばらく座りました。心がざわざわしやすい12月。自分の気持ちを大切に扱えるように。その中の一つの道として「坐禅」に出会えるといいなとそっと思っています。

園長 齋藤美和



じむしょ 小窓 だより

先日観たお芝居でこんなシーンがありました。

「何かを失くしたんだけど、何を失くしたのかわからない。だけど必死に失くした何かを探している人」が出てくるのですが、「何を探しているのかわからないなら、探さなければいいじゃない。もう失くしたことを忘れちゃえば」と通りすがりの人が慰めようと声をかけます。すると、探し物をしている人の隣の部屋に住む人が、「この人が必死に失くした何かを探しているのに、それをなかったことにはできないじゃない！ 適当なこと言うんじゃないわよ！」と激怒するのです。その後、何を失くしたのか必死で考えている人と、何を失くしたか一緒に探し回るシーンが続いていくのですが、私の頭の中には子どもたちとの日々が思い浮かんでいました。

時折、理由はわからないけれど、すごーく怒っている子や、とても機嫌が悪い子がいます。子どもなりに、きつというんなものを抱えていて、それが言葉にならなかったり、何に怒っているのか自分でもわからない。ただ、胸の奥からムズムズした思いが溢れてる、そんなこともあるでしょう。そんなとき、「そうか、あなたはすごく怒っているんだ。何かきつと思いがあ。それは、なかったことにしないでいいんだよ。その思いが湧き出ている。それが生きているってことだよ」と隣にいてくれる人が、いてもいい。私はお芝居の中の、激怒した隣の人を見ながら、いいなあ、と思っていました。

「怒るのやめなよ」と怒りや悲しみをマイナスに捉えて、なかったことにする。「怒っちゃダメ」「いつも穏やかに」「相手に迷惑をかけずに」そんな空気が当たり前になった世の中、そればかりじゃ、子どもたちは息苦しいだろうなあ、と思います。だって生まれてきている感情は、嘘ではない、その瞬間の本物ですから。それをなかったことにするって、何か誤魔化していることになるのではないかと。

怒りや悲しみの元は、なんとかなるものなら共に解消したい。でも、なんともできないこともある。理由がわからない時もある。ただそんな時にも、「怒ってる！」というあなたの隣にそうかそうか、といってくれる人がいたら、少し、救われる気持ちになるのではないかと思います。

怒りで人を傷つけたり、傷つけられたり。悲しんだり、喜んだり。人と人が生きていたら、いろんなことが起こる。感情のぶつかり合いが折り重なって、毎日の営みが続いていく。隣の人、であるあり方を考えている、師走です。

マネージャー 辻徳子



村の春夏秋冬 ～季節のたより・12月～

気づけば、今年もあと1ヶ月。
私自身も、今年中にやり残したことは綺麗にしたいと思っている今日この頃。

さて、新年を迎えるにあたり家の中を大掃除する家庭も多いと思います。
しぜんの国でもこの時期になると、0歳児から幼児までが小さな布の端切れを持ち、椅子や壁を
ごしごしと拭いたり、ロッカーを整える姿が見られます。

みなさんは、大掃除をする意味を知っていますか？

お正月とは、年神様という新年の神様を家に迎える行事を言います。そして、昔の方たちは大事なお客様がくる前にきちんと掃除をしていたことから今に繋がっているそうです。年神様は汚れたところが嫌い、、、だからこそ1年間で溜まった汚れを落とし、隅から隅まで綺麗にすると、年神様がたくさんの幸せを授けてくれると言われているようです。

気持ちは早いかもしれませんが、

もういくつねると お正月 お正月には凧あげて こまをまわして遊びましょう早く来い来い お正月

口ずさみつつご家族で楽しみながら、大掃除してみたいはいかがでしょうか？

保育者 リレー エッセイ

今月の担当は0歳クラス担任の齋藤ゆりあさんです。

【同期で入職したゆりあさん。一緒に頑張る同期の存在に支えられています。ゆりあさんを見ると、頭の回転が速いんだなあとしみじみ思います。てきぱきした印象のゆりあさんが1番ほぐれる時間や場所を聞いてみたいです。】

はづきさん、バトンありがとうございます。私も同期のお二人の存在がとても心強いです。そんな印象を持っていただけて光栄です。何事も効率重視な私ですが、ゆったり自分のペースで過ごすのも好きで、特に休日が一番ほぐれる時間かなと思います。

休日は、大切な人たちや飼い犬と過ごしたり、一人行動を試してみたり...とさまざま。ほぐれる場所もたくさんありますが、最近は美しい場所・景色・物を見ることがちょっとした幸せになっているように感じます。先日は急な思いつきで山梨県に行くことに。初めて山中湖の方へ行ってきたのですが、車で走っていると大きく聳え立つ富士山、山中湖に映る秋らしく色づき始めた木々を眺めて自然の雄大さを感じたり、、、何をするわけでもないのですが、写真を撮って、美しさや綺麗さを自分の目で見て感じ、心も穏やかになった気がしました。

一人行動も好きで、美術館や本屋さんへ行ったり、お買い物やカフェへ行くことが多いです。一人で出かけるとなんとか空や地面を見たり、周囲の景色見渡したり、ふらっとお店に入ってみたり。そんな風にして日常で出会ったちょっとした綺麗なものや好きなもの、美味しいものたちを写真に撮って記録しています。そんな風に、出会ったものの美しさや、なんとなく「好き」と感じたものを大切にしています。しぜんの国で暮らす中でも、出会う物や一つ一つの瞬間など、美しさを子どもたちと一緒に感じていきたいと思います。

2年間に渡り連載してきたリレーエッセイが今月でゴールを迎えました。来月からは新企画となります。

かみじま のんびり 漫画劇場

「 ドッチボールやろう！ 」

文・絵 かみじま たるひ



INFO

たるおじさんの紙しばい新作「どうぶつさん」 YouTubeにて公開！

<https://www.youtube.com/watch?v=EUfgsOWI6Y4>